

令和 3 年



県と市町の情報ホットライン

かがわ

vol.
111

発行●(公財)香川県市町村振興協会 監修●香川県政策部自治振興課
HP●<http://chousonkai.or.jp/shinkou/publication/>

まちづくり最前線/高松市

My Town

高松市卸売市場活性化推進事業

島産業株式会社 代表取締役 島 憲吾さん

Top Message

世界に目を向けトライしてこそ大いなる成長がある

地域の元気印/まんのう町

People

さぬきの森の会



四国唯一の国営公園である「国営讃岐まんのう公園」。
公園の中の森(さぬきの森)を維持管理、また利活用するために活躍しているボランティア団体「さぬきの森の会」があります。
メンバーみなさんの手で里山の貴重な自然が守られています。



高松市



既存の資源をフル活用し親しみやすい市場に 高松市卸売市場活性化推進事業

高松市のみならず香川県の台所と言える「高松市卸売市場」。高松市民、香川県民にとって大切な場所でありながら、関係者しか出入りできず一般の方には近寄り難い場所というイメージを持たれることも…。そこで、「食とアート」をテーマに親しみやすい市場を目指す取り組みが進んでいます。

活性化推進事業がスタート

高松市瀬戸内町にある高松市卸売市場には大きく3つの棟があります。1つは、野菜果物を取り扱う青果棟、鮮魚などを取り扱う水産物棟、少し離れたところにある花を扱う花き棟です。青果棟に關しては移転が決まっており、2024年度の移転供用開始に向けて準備を行っています。その移転後に、現在のエリア内で水産物棟を再整備することになります。

その際には、にぎわいを創出する施設も整備される予定です。このように近い将来での移転や建て替えが予定されていることから、これまでは既存の施設での改革がためられるということもありました。しかし、2020年4月、高松市民、香川県民に、より親しんでもらえる市場づくり

を目指し、「高松市卸売市場活性化推進事業」がスタートしました。「ただ待っているのではなく、既存の施設を使っていかに認知度を上げるか、楽しい施設であると認識していただけるか、工夫を凝らすことが先決」との熱い思いでこの事業を紹介してくれたのは市場管理課 施設整備室の石原室長です。

誰でも立ち寄れる店があります

それまでも卸売りや仲卸に関わる市場関係者で組織する「高松市中央卸売市場運営協議会」と協力し、年5回の市場特別開放として水産物棟で直接買い物ができる日を設けたり、「市場フェスタ」と称して1日だけの一般開放日を設けたりしていました。が、「何の施設か分からない」「どこにあるのか分からない」という声も聞こえてきました。そこで、一般の方も自由に出入りできる関連商品売場棟と加工水産物棟にある店舗の認知度を上げることから取り組みが始まりました。このエリアでは、2020年度当初はおよそ半分の16箇所が空き状態でした。そこで、市職員がさまざまな工夫をこらし、新規店舗の出店を働き掛けた結果、「なんと2021年度前半には全店舗埋まる



左から、高松市創造都市推進局産業経済部 市場管理課 施設整備室、主事の綾田 周平さん、主事の金地 卓さん、室長の石原一人さん、主任技師の坂口 智さん。
撮影場所は、ペイントアーティストのSHOGEN氏が太輪のひまわりを描いたフリースペース。



2021年度前半には全店舗が埋まる予定の売場棟。有名ラーメン店やうなぎ専門店なども出店しており、ランチスポットとしても人気上昇中です。

水産物棟から海を望む北側壁面を飾る子どもたちのウォールアート。120mにも及ぶ大作は、行き交う人々やドライバーの目も楽しませています。また、ウォールアート制作の一環として、自動車にも子どもたちが自由にペイント。今は市場の広告棟として走り回っています。



高松工芸高校の生徒さんらが制作したプロ顔負けの立体作品。「うみまち商店街」の壁面を飾ります。



マスコットキャラクターの「せとりん」は、瀬戸内の「せと」と、うみまち商店街の「うみ」をイメージした青白の鳥を表現したキャラクター。そして、市場の「せり」を組み合わせたネーミング。市場で働く人を表現しています。

アートな市場に大変身

「うみまち商店街」には、高松市自らが運営するキッチン付きの多目的スペースがあり、さまざまなイベントに活用することが出来ます。ここには、子どもたちが喜ぶイラストが描かれていますが、市場全体のあちこちにアートがあり、楽しさや温かさを演出しています。特にアートスペースでは、ペイントアーティストSHOGEN氏が描いた大輪のひまわりが人々を迎えます。また、高松工芸高校の工芸科コース、漆芸コース、インテリアコースのみなさんの協力により、授業の一環として制作されたウォールアートが通路や出入り口を飾っています。



高松市が運営する多目的スペース。1階は新鮮素材を使って料理もできるキッチン付き。2階は楽しいアートに囲まれた空間で、「子ども食堂」としても利用されていました。

さらに、周辺の人々にも楽しさを提供するのが水産物棟の北側壁面。地元の新番丁小学校の3年生142人が「海」をテーマ

に描いた大作が120mのウォールアートとして完成。ほかにも、加工水産物棟や花き棟の壁面には、イラストレーターやスプレーアーティストの作品が描かれ、それぞれの壁面で異なった雰囲気を出しています。特に花き棟の作品は「花と人生」をテーマにした絵巻物風で、思わず足を止めて見入ってしまう、花を買いに行きたくなくなる。とか。「マスコットキャラクターのせとりん」が市場のどこから箇所にも隠れているんですよ」と楽しい仕掛けを教えてくださいましたのは多目的スペースなどの内装を手掛けた坂口主任技師。経費節約のため、市職員自らも放置されていた空き店舗の片付けをし、塗装などを行ったそうです。アートと共に工務店顔負けの仕事ぶりをぜひとも見ていただきたいところですよ。



壁画とコラボレーションできる撮影スポットもあり、インスタ映えもねえれます。

まちのにぎわい創出につなげる

話題を呼んでいるのが高松市卸売市場独自のWEBサイト※「Takamatsu Sea & Sun Market」。運営協議会の方々と高松

市が協力し、市場の生の情報を伝える手段として開設されました。市場で取り扱う農水産物の情報、うみまち商店街の店舗や市場イベントの紹介などを発信しています。さらに、市場関係者が出品するオンラインショップを制作したところ、全国放送のテレビ番組で紹介され、「注文が殺到して、うれしい悲鳴を上げました」と販売開始時をふり返る金地主事。こうした取り組みから、市と協議会の絆も深まっているようです。

実は、この推進事業は、コロナ禍により従来の施設開放系のイベントが全く開けなかったことが大きな原動力となりました。どうかして、一般の方に市場を知ってもらいたい、親しんでもらいたいとの気持ちから、高松市も協議会も大きく一歩を踏み出したのです。そして、結果は一過的なものではなく、これからの市場のあり方を大きく前進させる事業展開となりました。「コロナ禍の今は、準備期間をもらったと前向きに考え、まずは高松市民、香川県民のみなさんと着実に市場ファンの輪を広げ、いずれは県外の観光客の方々、そして、海外のインバウンド客のみなさんにも楽しんでもらえる高松市卸売市場として成長し、高松市のにぎわい創出に大いに貢献したいと考えています」と石原室長が力強く締めくくってくれました。



香川の先進企業の力を探る あの人に会いたい！

島産業株式会社

代表取締役

島 憲吾さん

もちろんコロナ終息後の話ですが、自治体のみなさんにも、ぜひ世界の大展示会をのぞいてみていただきたい。新商品開発に關して一役買うことができ、地域経済発展に寄与できるのではないでしょうか。コロナ禍でさらに重要な補助金制度においては、企業の計画から実行を配慮して、応募期間を考えていただきたい。どの補助金が自社に適するのかわ、アドバイスをしてくれる、コンシエルジュのような存在がいれば、さらにありがたいですね。

官公庁向けのゴミ処理プラントを手掛け、昨年は経済産業省の「地域未来牽引企業」に選定された島産業株式会社。2013（平成25）年から家電業界に参入し、生ごみ減量乾燥機を発売しました。改良を重ねた製品は、世界的に権威のある三つのデザイン賞に輝き、日本グッドデザイン賞も受賞。この製品開発を手掛けた島 憲吾氏に開発秘話などを伺いました。



商品開発グループの受賞メンバー

前列左から来見 幸太郎さん（ディレクター兼チーフデザイナー）、島 憲吾さん（代表取締役）、藤田 晃男さん（プロデューサー兼システムデザイナー）。

後列左から飯田 誠さん（メカニカルデザイナー）、川野 勇さん（メカニカルデザイナー）。



リサイクル施設、粗大ごみ処理施設など官公庁向けのごみ処理施設の設計、建設、メンテナンスを行っています。



明るい社屋では、基本計画から試運転に至るまでのトータルエンジニアリングを行っています。

■経営理念をお教えください。

本音で言えば、社は経営理念と
いった堅苦しいものは全てカットし、
逆に社員を締め付けないシンプルさが
信条です。これまで苦勞を掛けた時期
もありましたが、現在では年間の売り
上げ目標も明示しません。もちろん
私自身は把握しておりますが、社員
には「営業も技術の人も粗利目標を
考え、赤字は出すな」とそれだけを
お願いしています。

■貴社の事業内容や取組内容についてお教えください。

一言でいえば、本業は官公庁向け
のごみ処理です。昔は自社で入札に
参加していましたが、合併などで市
町村の規模が大きくなり限界を感じ
ました。そこで、大手重機メーカーさん
の下請け方式に切り替えたというわ
けです。もちろん、それまでの積み上
げがありますから、計画から試運転
までこなせる能力は持っているのだ
が、時代の流れを考えての選択です。

■数々の国際的なデザイン賞を受賞された生ごみ減量乾燥機開発のきっかけをお教えください。

将来を踏まえてもう一つ何か新し
い分野にトライしたいと考えていた

ところ、2003(平成15)年に経済産

業省において設立された京都議定書
目標達成産業技術開発促進事業の
制度では、地球温暖化問題の解決に貢
献する革新的産業技術については助
成促進するためにその技術開発に大
規模な事業費補助を受けられること
を知りました。早速応募したところ、
初年度は落選。企画内容の良いところ
悪いところを細かく指摘してくれたの
で、それを踏まえてもう一度チャレン
ジすることになりました。たまたま書店
で良きバイブルとなる本を見つけ、論文
の書き方も工夫した上で再チャレン
ジしたところ、無事に採択されました。

■生ごみ減量乾燥機開発の経緯をお聞かせください。

開発に乗り出したのは2009
(平成21)年のことですが、当初は機械
メーカーの考え方のみで性能を上げ
ることに躍起になっていました。でき
あがった試作機は、ごみ処理能力
に関して言えば、ものの20秒で破碎、
脱水、袋とじできる完璧なものでした
が、大きい音がうるさい、臭いの三拍
子そろった失敗作。到底家庭で使え
るものではありませんでした。高知県
の某自治体が声を掛けてくださり、
実際に製品をモニターすると、「これ



機能もデザインもブラッシュアップされる前の試作機。

は使えない」と一蹴されました。

この時は悔しかった。そこで、コン
パクトで音が静か、臭いがもれない生
ごみ処理機を目指し奮闘が始まり
ました。当時は我が家でも試作を重ね
ていましたので、熱処理乾燥が暴走し
火が出ないかと夜も眠れませんでした。
ですから、現在の製品は赤ちゃんのい
る家庭でも安心して使えるものにし
ました。また、臭いを防ぐための活
性炭は、炭の本場である中国各地を
探し回りました。絶好の炭を見つけ
たと思えば、軍のガスマスクとして使
われていたため国外に持ち出せず、あ
えなく撃沈したこともありました。砂
漠の果てのようなところまで出向い
たこともありました。おかげで、納
得できる活性炭に出合うことがで
き、産業技術総合研究所のつくばセ
ンターで1年半研究も重ねました。
そして、2013(平成25)年に
家庭用としても自信作である初期
モデルを売り出しました。ところが、
全く思うように売れません。量販店

の店頭では、色とりどりの同じような家電がずらりと並んでいます。ありきたりの色では、わが社のような後発の企業は知名度も低く、なかなか手に取ってもらえないと考え、名前に「パリパリ」と付いていますので、思い切ってフランス国旗のトリコロールカラーを採用。色を工夫したところ、販売件数も徐々に伸びてきました。

すると、ある通販会社の方が、グッドデザイン賞に応募してみたらと、声を掛けてくれたのです。そこではきつて応募したところ、「色が悪いですね」と酷評され、担当者が肩を落として帰ってきました。それなら、国内などといわず、世界トップクラスのデザイン賞にトライしようとはづばを掛けました。

調べたところ、世界三大デザイン賞といわれるものがあり、その二つがドイツで開催されることを知りました。それに、ノミネートすることにしましたが、私をはじめ開発チームのメンバー誰もが「賞など絶対取れるわけではない」と正直思っていました。実際その通りで、最初の年は落選。それではと、さらに工夫を重ね、アピールの文章も考え抜き、一年をおいて新機種で再挑戦。この頃のチームの合い言葉は「江戸の敵は独逸で討つ」でした(笑)。その結果、2020(令和2)年に「iFデザイン賞

(iF Design Award)」「レッド・ドット・デザイン賞(red dot design award)」をW受賞。また、日本では「グッドデザイン賞」をいただき、さらに、ドイツの経済産業省のような役所が主管する賞「ジャーマンデザインアワード2021(German Design Award 2021)」スペシャル賞を受賞することができました。この賞は、まず世界的な賞を受賞した実績が必要で、ドイツデザイン協議会からノミネートされるだけでも栄誉という賞でした。ドイツでの各授賞式は3回共このコロナ禍で中止になり、社員はガッカリしていました。ちなみに色が悪いと言われたトリコロールカラーは、今では主力製品になっています。



国際的に権威のある世界のデザイン賞や日本のグッドデザイン賞など国内外の数々の賞を受賞した「パリパリキュー」。

貴社における製品づくりのこだわりをお教えください。

何より誇るべきは、これらのデザインは全て社内で行ったことです。弊社では機器のデザインのみならず、パンフレットやカタログ、プロモーションビデオなども社内ですべて行っています。

もちろん技術には自信を持っています。性能面でも改良に改良を重ね、2016(平成28)年4月に発売したトリコロールカラーの「パリパリキュー」は約15の特許を取得。2020(令和2)年発売の「パリパリキュー」は約20の特許を取得しています。生ゴミは家庭によって内容が違います。試作機を多くの社員に持ち帰って家庭で使ってもらい、情報をたくさん集め、分析した結果、全ての家庭にあう最大公約数を満たし安全かつ短時間で処理できる製品でなければなりません。製品試験はさまざまな条件で複数の台数を並べ、一件600回以上を1日2回で300日行います。

現在、製造に関しては中国の工場で行っていますが、検査態勢は国外、国内とも厳正です。弊社の社員立ち会いの下で日系の検査会社に委託し中国で3回、さらに日本に帰ってから高松市の検査会社で1回と最終

自社で1回の検査を重ねます。

こうした努力を重ね「パリパリキュー」「パリパリキュー」共に、「嫌なにおいがしない」「生ゴミが清潔に扱える」「コバエが飛ばない」「ごみ出しが軽くなる」「汁だれしない」「雑菌を繁殖させない」「有機肥料にも使える」おまけに「CO₂削減にも貢献できる」自慢の製品です。



根強い人気があるトリコロールカラーの「パリパリキューブライトアルファ」。

生ゴミの大幅減量は、行政側のごみ処理にも大きく貢献します。購入にあたっては、全国で約6割の自治体が助成金を出してくれていますが、観音寺市ではふるさと納税の返礼品にも使われています。

会社の将来像と目指すべき社長及び社員像等がございましたらお聞かせください。

本業の方はすでに息子に任せて



観音寺市の田園地帯にある島産業株式会社（株）島産業の社屋。

おります。新分野は市場規模が違うので、家庭用生ごみ処理機のブラッシュアップを繰り返し、技術革新を進め、どこの家庭にでもある不易商品にしたいと願っています。さらに、新たな家電製品を開発したいと考えているところです。ですから、固執せず生涯現役でトライし続ける代表でいたいですね。

以前は夜遅くまで会社の灯りがついているとうれしい気持ちでしたが、今は恥ずかしい思いがします。ですから休みも取らず夜遅くまで仕事をしてほしいとは全く思っていませんが、進歩を止めない社員でいてほしいですね。弊社の社員は、ひとりひとり本当に頑張ってくれています。結局は誰も助けてはくれない、自分で頑張るしかないことを自覚するしかないということでしょうか。

香川県や市町の行政に感じていることを、お聞かせください。

コロナ禍では企業にとっても頼みの綱の補助金や助成金ですが、探すのも申請を出すのも非常に複雑という印象があります。計画や準備が必要なものもありますが、募集期間が短すぎます。特に単発の補助金制度は、気がついたときには後の祭りというものも多いですね。可能ならば前もって情報がほしい。また、各課それぞれに補助金の情報が分かれています。それが弊社に当てはまるものかを見極めるのも大変です。コンシェルジュのような方がいてくれると助かりますね。



島産業株式会社は2020(令和2)年、地域経済の中心的な担い手となりうる事業者に贈られる経済産業省の「地域未来牽引企業」に選定され、地域経済のリーダーとして期待が寄せられています。

り、面接審査などはリモートできると助かります。説明はネットだけでなく紙媒体でも確認できる方がありがたいですが…。

本誌を読む自治体職員に向けて、
アドバイスをお願いいたします。

自治体の方々も世界的な展示会にはぜひ足を運んでみるべきです。中国の広州の展示会、アメリカやドイツの展示会に何回も参加したことがあります。日本で見える見本



島 憲吾 (しま・けんご)

香川県観音寺市出身（香川県在住）
昭和27年12月21日生まれ 68歳

昭和45年 3月 観音寺第一高校 卒業
昭和49年 3月 明治大学経営学部 卒業
造船メーカー勤務を経て
昭和51年 2月 島産業株式会社 入社
昭和62年 3月 同社 代表取締役 就任
現在に至る。

本社所在地 香川県観音寺市中田井町1番地

市とは全く規模が違い、想像を超える
ありとあらゆる商品が並んでいます。
一般的なマツチングパーティーなどよ
り、ずっと効果的な出合いがあると
私は思います。

まずは県をはじめ自治体の方々が
下見をし、民間からも募集しツアー
を組んでいくべきです。新商品開発
に関して一役買うことができ、非常
に勉強になります。地域経済発展に
寄与できるのではないのでしょうか。

Profile

四国デスティネーションキャンペーン (2021年10月から12月) 開催に向け準備を進めています



観光振興課
主任主事 長尾 拓門

デスティネーションキャンペーン
(DC)とは

Destination(目的地)と
Campaign(宣伝)を組み合わ
せた造語で、J Rグループ6社
(北海道、東日本、東海、西日本、
四国、九州)と地元自治体、観光
事業者等が連携して、一定の地域
を集中的に宣伝・販売促進し、
全国規模で展開する国内最大級
のキャンペーンです。

具体的には、地元が魅力的な
観光素材を提供し、J Rグループ
6社が全国の駅や列車内で集中
的に宣伝するほか、旅行会社など
により、DCに合わせた商品造成が
行われます。こうした取り組みに
より、DC期間中の延べ宿泊者
数や観光地の入込客数の増加が
期待されます。

四国デスティネーションキャンペーン

について

四国を対象とするデスティネー

ションキャンペーン(以下、四国DC
という。)では、四国の観光事業者
が一体となってそれぞれの取り組み
を行うことにより、四国の観光地
の知名度向上とともに、着地型観光
の基盤整備を図り、四国DC期間
中だけではなく、それ以降の誘客
にも繋げていくことを目標として
います。

前回の四国DC(平成29年4月
から6月)では、期間中の宿泊者
数が対前年比105.8%、経済波及
効果は107.5億になる等、四国の
魅力創出と地域の活性化に結び
付きました。

2021年秋季(10月から12
月)の3ヶ月間、4年ぶり6回目
の四国DCが開催される予定で、
現在開催に向け準備を進めてい
るところです。

今回の四国DCでは、前回の四国
DC同様、テーマは『5つのくるり
(学・観・遊・心・食)』、キャッチフ
レーズは『しあわせぐるり、しこく
るり。』としています。北は穏やか
な瀬戸内海、南には雄大な太平洋、
中央部には深く高い四国山地と、
変化に富み自然に恵まれている
「四国」を5つのテーマでお楽しみ
いただけるようにと考えています。

キャッチフレーズには、「全国から
多くの方に四国へお越しいただ
き、四国を巡りながらお楽しみ
いただきたいという思いと、四国
をぐるりとまわり、お越しいた
だいた皆様にしあわせが巡って
くる。」そのような思いも込めら
れています。

また、今回の四国DCから新た
に『四国の風・水・色を感じて』を
キャッチコピーに定め、風(海を巡
りくる潮風、山間や川面に吹く
そよ風、サイクリングを通じて全
身で感じる涼風)、水(海や川の清
く透き通る水、山間から染み出
る清水)、色(青い海や空と川、紅
葉に染まる山間)など、四国なら
ではの魅力“自然美”を存分にご
堪能いただきたいという思いを込
めています。



DCロゴマーク

そして、光り輝く宝石にイメー
ジを重ねた四国地図を四国DC
のロゴマークとし、四国観光の魅力

を光のきらめきとして表しています。
光の色は、ブルー（徳島県・藍）、
グリーン（香川県・オリーブ）、オ
レンジ（愛媛県・みかん）、レッド
（高知県・南国の情熱）と各県を
イメージとしたカラーとしており、
それらをグラデーションで表し、四
国が一体となっていることを表現
しています。四国のまわりに放た
れた光の環は、『しあわせぐりり、
しこくぐり。』を表現する8個の
循環する円で、四国の代表的遺産
である四国八十八ヶ所巡礼の意
味を持たせた数字の「8」が連続
するデザインとなっています。

これまでの取り組み



全国宣伝販売促進会議

昨年11月10日にサンポートホー
ル高松で、四国DC期間中の旅行
商品の造成・送客に繋げるため、
全国の旅行会社やJRグループ・
マスコミ関係者等、約300名を招い
た四国DC全国宣伝販売促進会
議を開催し、事業者と旅行会社
による観光商談会や観光プレゼン
テーション等を行い、四国の観光素
材のPRを実施しました。また、
翌日からは、エクスカーション（現
地視察）を実施し、実際に四国4
県の観光地を視察・体験していた
きました。



エクスカーション

地元の機運醸成を目指して



カウントダウンボード除幕式

3月25日、四国DCの周知及び
県民の機運醸成を目指して、四国
4県のJR四国主要4駅（本県
はJR高松駅）にて、四国DCに
向けたカウントダウンボードを設
置し、除幕式を開催しました。こ
れから開幕までの約半年間、多く
の観光客の皆様が四国を訪れて
いただけるよう、引き続き四国の
魅力を発信してまいります。

また、四国DC本期間に先駆け
て、試行的に取り組む四国プレ

DC（4月から6月）を開催して
います。四国プレDC期間中は、
四国DC本期間である「秋」とは
違った「春」の四国の魅力を感じ
ていただければと思っています。

今後の予定について

四国ツーリズム創造機構、JR
四国や県内各市町等と連携し、
本県の魅力ある観光素材の発掘
や磨き上げを実施し、受入環境
の整備や各種プロモーション等を
展開する予定です。

四国DC期間中は、JR各駅や
列車媒体、ガイドブック、WEB
サイト等、JR6社の広告媒体を
フルに活用した集中的な宣伝販
売を展開し、四国が一体となって、
一層の誘客に努め、交流人口の
拡大や地域経済の活性化に繋が
るよう取り組んでいきたいと考え
ます。

皆様も、四国DC期間中はぜひ、
本県の知られざる観光地の魅力
を体感していただくとともに、四
国内の観光地の魅力を体感いた
だければと思っています。

愛媛県
松山市「観光未来都市まつやま」
を目指して

松山市は、2020年7月に内閣府から「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」に選定された。

プラットフォームとして「産・学・民・官・金」などで構成する「松山市SDGs推進協議会」を設置し、地域課題解決に多様なステークホルダーが参画することで、新たな価値を創出し、複数課題の同時解決を図っている。

本市も、参画団体の1つとして協働するほか、対外的な情報発信など、当該スキームの好循環を促す役割を担う。また、昨年度、市内部のSDGs推進組織として、市長をトップとする「松山市SDGs推進本部」を設置したほか、今年度からはSDGs推進担当課長を設置するなど、更なるSDGsの推進に力を入れている。



松山市総合政策部企画戦略課
SDGs推進担当課長
伊藤 智祥さん

2030年の
あるべき姿に向けた
持続可能なまちづくり

松山市は2030年のあるべき姿である「安全で環境にやさしい持続可能な「観光未来都市まつやま」を目指し、「道後温泉・松山城など世界に誇る観光資源」「太陽の恵み豊かな自然環境」「お接待の精神が宿る地域コミュニティ」「多様な主体が活躍できる文化的土壌」など、脈々と受け継がれてきた地域資源を活かして多様なステークホルダーと協働し、経済、社会、環境の3側面に配慮した取組を行っている。

経済面では、豊富な地域資源を活用した選ばれる観光都市を、社会面では、地域防災力を強化し安全・安心で快適な都市を、環境面では、温室効果ガス削減を推進するなど自然環境と共生する都市を目指し、取り組んでいる。



松山市の描く2030年のあるべき姿



愛媛県松山市

●面積 / 429.35km² (R2年10月現在)

●人口 / 505,973人
(R3年4月1日現在)

●HPアドレス
<https://www.city.matsuyama.ehime.jp>

DATA

松山市SDGs推進協議会を設立

経済、社会、環境の3側面で統合的な取組を行うためには、多様な主体が意見を出し合い、いかに連携していくかがカギとなる。

そこで本市は2020年7月に取組の中心的な役割を担うSDGsのプラットフォーム「松山市SDGs推進協議会」を設立し、企業、教育機関、NPO法人、金融機関、連携中枢都市圏の自治体など94団体で活動をスタートした。

多様な視点を取り入れるため、協議会には市外、県外の団体でも随時加入できるようにしており、2021年4月時点で参画団体は150団体を超えている。

組織の体系は、協議会の方針を決定する「役員会」、運営を担う「幹事会」、具体的なプロジェクトを実施する「分科会」がある。

協議会では、勉強会でSDGsに関する知見や地域のニーズ・課題を共有し、ワークショップで課題解決策を考察することを通じて参加者同士のコミュニティの形成を促し、出来上がったコミュニティで分科会を立ち上

げプロジェクトを推進していく。

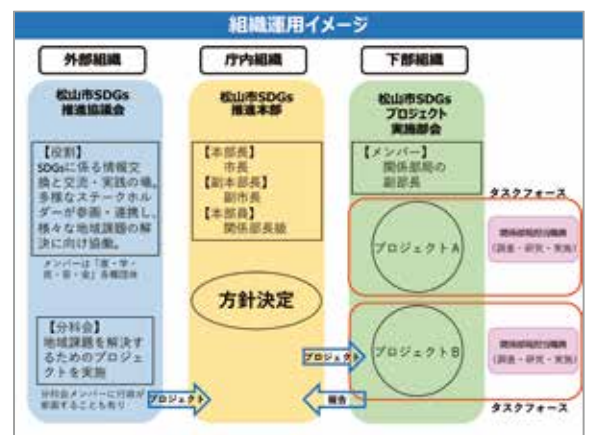
分科会の取組や成果については、様々な媒体を活用して情報発信し、参画団体の価値を高めるとともに、SDGsに取り組む輪の拡大を図っている。



推進協議会の仕組み

市内のSDGs推進体制について

市長を本部長、副市長を副本部長、各部署局長を構成員とした「松山市SDGs推進本部」を組織している。協議会と連携・協働し、分科会に市がステークホルダーのひとつとして参画する場合は、推進本部で方向性を決定し、副本部長を構成員とした「SDGsプロジェクト実施部会」及び関係課職員による「タスクフォース」で具体的な取組を検討・実施する。



市内のSDGs推進体制

分科会の取組について

協議会の先行分科会として、忽那諸島最大の中島を舞台とした「スマートアイランドモデル分科会」を設置した。この分科会は、市が構想のアウトラインを描き、協議会の会員団体が有するノウハウなどを持ち寄って実施する提案型のプロジェクトで、市を含め18団体が活動している。その取組の1つは、島内の周遊性を向上させるため、行政が太陽エネルギーで動くグリーンスローモビリティを導入し、保険会社が運行上のリスクアセスメントを実施したうえで、島内の

社会福祉法人が実証を行っている。他にも再生可能エネルギーの地産地消や島内の魅力を向上させる取組なども進めている。中島で創った環境にやさしい電力は証書化し、道後のイベントなどで活用することで道後地域のブランド力向上と中島の魅力を発信し、市内回遊を促す予定だ。

このように当分科会は、官民連携で経済（にぎわい創出）・社会（移動手段の確保、防災力強化）・環境（温室効果ガスの削減）面の課題を同時解決するもので、同様な課題を抱える地域へ横展開することによって持続可能なまちづくりを進める。



分科会について

香川のまち歩き

高松市の奥座敷と呼ばれてきた「塩江」。奈良時代に行基が発見したという温泉が今も人々を癒やすリゾートエリアです。昭和初期には花屋という豪華な旅館があり、少女歌劇が舞台を飾り、ガソリンカーが仏生山から多くの宿泊客を運んできました。江戸時代の旧道、昭和時代の温泉通り、そして現在の国道と三つの街道が残されている道の駅「しおのえ」周辺を散策します。



塩江街道と呼ばれる国道193号線沿い、道の駅「しおのえ」の向かいに塩江温泉観光協会「塩江インフォメーションセンター」があります。塩江観光の情報を入手するには最適なこの場所から、今回のまち歩きはスタートです。まず渡るのは木造の「行基橋」。先には日帰り入浴施設「行基の湯」、無料の足湯もあり帰りにはぜひとも立ち寄りたいスポットです。行基橋の東には車が通行できる橋が架かり、広々とし



この日、ガイドをしてくれたのは塩江・観光マイスター振興会の藤澤保副会長。博識な知識で塩江の歴史を分かりやすくガイドしてくれました。

塩江街道と呼ばれる国道193号線沿い、道の駅「しおのえ」の向かいに塩江温泉観光協会「塩江インフォメーションセンター」があります。塩江観光の情報を入手するには最適なこの場所から、今回のまち歩きはスタートです。まず渡るのは木造の「行基橋」。先には日帰り入浴施設「行基の湯」、無料の足湯もあり帰りにはぜひとも立ち寄りたいスポットです。行基橋の東には車が通行できる橋が架かり、広々とし

歴史の名湯から美術館まで 時代の道筋を巡る

高松市塩江町



香東川に架かる鉄橋を渡る往時のガソリンカー。左の写真は大向橋の下に今も残る橋脚。



当時の学生たちの通学手段としても使われていたガソリンカー。エンジンがかからない時には乗客に押してもらったこともあったそうです。



た駐車場があるので、散策する際は、こちらを利用しましょう。昔は、この橋を渡ると豪華な料理旅館「花屋」があり、温泉館の2階の演劇場では専属の少女歌劇が年中無休で上演されていました。



昭和3年に開館した料理旅館「花屋」。香東川のほとりにお城のような建物が連なっていました。

花屋は1974(昭和49)年に焼失しました。現在、この辺りの「道の駅エリア」において、物販・飲食、温浴、観光情報発信等の複合的な機能を持つ観光関連





行基橋を渡った先にある行基の湯には、大浴場や露天風呂、サウナもあります。



無料で利用できる足湯。周囲にはスイーツショップやランチスポットもあります。



苔むした「六角堂」は、塩江温泉の源泉。お肌がすべすべになる「美人の湯」だとか。



「白纓の滝」の「纓」という字は、冠のひもを意味する漢字で、細いひもが一つになって垂れ下がるような流れなのでこの名が付いたそうです。



四国新聞社の前身である香川新報社により、根香寺、庵治竹居観音、榎井日柳燕石碑、金倉寺に並んで塩江温泉が「讃岐五景」に選ばれ、庵治石の石標が建てられました。

施設と医療施設の一体的な整備が行われ、5年後には塩江温泉郷のシンボルとなる新たな交流拠点が生まれようとしています。

さらに駐車場を東に進めば、まず見えるのが「白纓の滝」。ここにも六角堂がありますが、現在は東の「六角堂」で源泉が湧き続けています。近づくとも温泉臭と言われる硫黄の匂いが……。泉質は「単純硫化水素泉」、約17度の冷鉱泉で多くの難病や美肌に効果があると言われ、2002(平成14)年には塩江温泉が「国民保養温泉地※」に指定されました。ちなみに「塩江」という言葉には、しおはゆい水の湧く江という意味があり、それ自体が温泉を表す言葉だそうです。つまり「塩江温泉」は、本来の意味から言えば「温泉温泉」ということになります。

塩江温泉は、今から約1300年前の天平年間(729〜749)に行基菩薩がこの地を訪れ発見したことに由来します。急な石段を上がった高台に、薬師堂があり行基菩薩がまつられています。石段の脇には、1927(昭和2)年に香川新報社が選定した「讃岐五景」の石碑。周辺の山道をたどれば新四国八十八ヶ所のお地藏様を巡ることができます。

薬師堂に手を合わせた後は、明治時代、村営の温泉場があった場所を見学し、続いて橋と国道を渡り旧道に入ります。この道は「温泉通り」と呼ばれた道で、高度成長期には14軒もの旅館や民宿があり、ビリヤード場や映画館も開館していました。今では狭いと感じる道をトラックやバスまで行き交っていたそうです。さらに山際には、江戸時代から続く旧道があります。

再び国道に下りてくれば、1962(昭和37)年の有線放送開局の記念樹「飢肥杉」が見えます。香東



ホテルと文化の里公園内に建つ市立美術館。自然光を取り入れた明るい館内でアート鑑賞を楽しめます。

※温泉法(昭和23年法律第125号)に基づき温泉の公共的利用増進のため、温泉利用の効果が十分期待され、かつ健全な保養地として活用される温泉地を環境大臣が指定しているもの。

川の南岸へ移動し、いこい食堂前から塩江美術館に続く道に入れば、高松市民病院塩江分院の北あたりに、ガソリンカーの塩江駅がありました。ガソリンカーとはガソリンを燃料とした鉄道車両。昭和初期に創立された塩江温泉鉄道株式会社が仏生山駅から塩江駅まで運行し、川崎車輛が初めて製造した5両のガソリンカーが1941(昭和16)年までの12年間走行していました。今も線路跡にはトンネルや橋脚など多くの遺構が残されています。

ガソリンカーの思い出をたどりながら歩いて行くと、やがて塩江美術館が見えてきました。あいにく取材当日はコロナ禍の影響で閉館中でしたが、周囲のせせらぎは心地よく、句碑をたどりながらの散策はあつという間に時がたちました。

最後は道の駅「しおのえ」周辺に戻り、温泉でさっぱりと汗を流せば、完璧なまち歩きのコース完成です。

「塩江・観光マイスター振興会」問い合わせ先

塩江インフォメーションセンター ☎087-893-0148

香川の自治に新しい力 New Face

はじめまして

高松市
こども保健教育課 福家 大和さん



■今、熱中していることは？

写真を撮ることです。景色や建物などいろいろなものの写真を撮ることに熱中しています。

■高松市をこうしたい！

子育てしやすいまちにしたいです。地域全体で子育てを助けられるようなまちづくりをしたいです。

丸亀市
税務課 池井 颯希さん



■目指す人物像は？

窓口に来てくれた人に分かりやすく、丁寧に説明することが出来る職員を目指します。

■丸亀市のいいところは？

景色がいいところです。丸亀城というシンボルと、飯野山や土器川など、自然の豊かさを両方楽しむことができます。

坂出市
文化振興課 平西 由宜さん



■あなたのチャームポイントは？

よく笑うことです。おとなしそうに見えて実は、声を上げて笑うことが多いです。

■坂出市をこうしたい！

子どもから高齢者まで幅広い世代の方に、このまちで暮らしていきたいと思ってもらえるようにしたいです。

琴平町
総務課 中原 望流さん



■目指す人物像は？

常に寄り添った対応を心掛け、住民の方に信頼していただける存在になることです。

■琴平町のいいところは？

「こんぴらさん」や「金丸座」のように、昔から長く愛されている伝統的なものが多くあるところです。

多度津町
健康福祉課 坂本 陵太さん



■目指す人物像は？

人の気持ちや思いに寄り添っていけるような人物になれたらいいなと思っています。

■多度津町のいいところは？

多度津町のいいところは、風光明媚なところだと思います。特に、桜の時期の桃陵公園はすごいです。

まんのう町
福祉保険課 横井 美咲さん



■あなたのチャームポイントは？

顔の丸さです。今はマスクで分かりづらいですが、親しみやすい丸さだと思います。

■まんのう町をこうしたい！

まんのう町は高齢の方に住みやすいまちだと思います。高齢の方に加え、若い人にもより住みやすいまちにしたいです。

三豊総合病院金園
管理課 藤田 舞依さん



■目指す人物像は？

誰に対しても優しく接して、困っている患者様を手助けできる人になりたいです。

■企業団のPRをお願いします！

三豊総合病院は地域の中核病院として地域の方々の健康を守るため患者様に寄り添い、信頼される医療を提供しています。

香川県広域水産企業団
広域送水管理センター 境 祐仁さん



■今、熱中していることは？

早押しクイズです。新しい発見や学びが得られ、興味関心の幅も広がりました。

■企業団の仕事内容は？

綾川浄水場で、24時間体制で運転管理や点検を実施し、安全な水の供給が途絶えないように業務を行っています。



間伐や薪割など、森の資源を生かすための技術向上の勉強会もあり、学んだ知識や技術は体験教室や環境学習で子どもたちにも伝えています。



この日の講師である田中照男さんの説明に熱心に耳を傾けるメンバーのみなさん。このように、実際に「さぬきの森」に入り、楽しみながら役立つ知識を身につけています。



まんのう町

市民共同で讃岐らしい里山づくり

さぬきの森の会

(さぬきの森の会会長 増田 孝夫さん)



森や木が大好きで準備段階から「さぬきの森の会」に関わっているという増田 孝夫会長。

広大な面積を有する「国営讃岐まんのう公園」には、総面積152ヘクタールの森があります。「さぬきの森」と名付けられたこの森には、開園日には自由に入ることが出来る「一般エリア」の他に、届け出が必要な「入退園申請エリア」があり、讃岐らしい自然が残されています。この森を公園スタッフの方々と共に守っているのが「さぬきの森の会」のみなさんです。

同会の発足は2013(平成25)年春。その2年前から準備を行い、企画会議や試験的な森づくりイベントなどを行ってきました。そして、活動の舞台となる「さぬきの森」開園一か月前に、同会はスタートしました。正式設立後は、保全、整備などの森づくりを続けながら、野外レクリエーション活動の場の創出や、森づくり活動をとおした公園利用者への利用プログラムの提供を実施。また、会員自身が楽しみながら活動できる方法も模索してきました。



公園スタッフと「さぬきの森の会」のみなさんの力で、さぬきの森の豊かな自然と命が守られ、子どもたちが自然とふれあう貴重なフィールドとなっています。

現在は個人31名に加え、地元老人クラブのみなさんにも登録いただき、合わせて45名が会員です。毎月第3土曜日を定例活動日と定め、その他季節に応じたイベントを開催し、平均10数名が参加して活動を行っています。

その一端を紹介すると、本格的な森林整備に始まり、「原木を育てることから手掛けるシイタケなどのキノコの栽培」、「さぬきの森に生息しているさまざまな野鳥のモニタリング調査や巣箱の設置」、「園内に生息する」セトウチサンショウウオなどの貴重な動植物を守るための保全作業。また、定例活動とは別に、「地元の小学生を対象とした環境学習(通年)や公園利用者

を対象としたヒノキの間伐体験」、「薪割り体験」、「自然観察や竹細工などのクラフト体験」等ができるイベントも年間を通じて行っています。加えて、会員自身のスキル向上のために樹林整備技術者養成研修会や竹講習会等の各種勉強会も開催しており、取材当日は、観音寺市で三豊薬草園を営む田中照男さんのお話を伺いながら、さぬきの森をフィールド調査し、薬草・薬木を学びました。

コロナ禍により今年4月のイベントの開催は中止となりましたが、2021(令和3)年7月3日(土)に、間伐や自然観察などの体験イベントを開催予定です。くわしくは下記までお問い合わせください。また、常時会員募集中!年齢、経験などは問いませんので森や里山に興味がある方はぜひご参加ください!

DATA

さぬきの森の会 事務局

☎0877-79-1807

(国営讃岐まんのう公園 自然生態園・さぬきの森)

サマージャンボ

真夏の
アツい!!
運試し

7

億円

1等前後賞合わせて
7億円

1等5億円、前後賞
各1億円

当せんのチャンス広がる!

サマージャンボ

ミニ

5

千万円

1等前後賞合わせて5,000万円
1等3,000万円、前後賞
各1,000万円

PCやスマホで
ネット購入!



宝くじ公式サイト

<https://www.takarakuji-official.jp/>

この宝くじの収益金は、
市町村の明るく住みよい
まちづくりに使われます。

7月13日(火) 同時発売

発売期間/7月13日(火)~8月13日(金) 抽せん日/8月25日(水)

各1枚
300円

2021年市町村振興宝くじ

公益財団法人 香川県市町村振興協会